

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/



法座のご案内

永代祠堂経法要

七月四日(金)・五日(土)
両日午後一時半より



今号の法語



雨を喜び
風を楽しむ

長嶋 茂雄



今号の内容

・鐘楼堂が修復中です
・仏事のQ&A ～永代祠堂経～
・千夏のきときと日記
・住職コラム
・プチ縁日を楽しみました ～仏婦の集い～



長嶋茂雄さんといえば、「ミスタージャイアンツ」・「燃える男」と親しまれた国民的スター選手。現役引退後も、変わらない明るさとその情熱、またお茶目さに多くの方が魅了されたのではないのでしょうか。

長嶋さんがでてくるだけで、パツとその場が明るくなる。本当に「華のある」お人柄だったと思います。

しかしそんな長嶋さんも、息子一茂さんとの対談では、「人生はいつもスランプ」だったとのこと。苦渋を舐めることばかりだった。意外ですよ。

今回の法語は、その長嶋さんの言葉です。そんな苦渋の日々に対し、喜び、楽しむ。長嶋さんだからこそその言葉かもしれないませんが、どこか私たちにも元気をくれる言葉です。

「燃える男」はこれから私たちの心をその情熱で照らし続けてくれます。合掌。

鐘楼堂が修復中です



昨年の護持委員会にて決まりました鐘楼堂の修復がおかげでいよいよ始まりました。四月二十二日の足場組立から工事はスタート。職人さん方があつという間に一日で組んでいかれました。翌日からは朝六時に撞かせてもらっていた梵鐘も数十年ぶりにお休み（寝坊の際は除く）。瓦を撤去

したら、今度は基礎（土台）修理の為、鐘楼を上を持ち上げます。あんな重いものが持ち上がるのですね。曳家とよばれる日本の工法とのこと。隅の柱も交換の必要はないとのこと。鐘楼を建てられた先人たちの丁寧な仕事に感謝です。

柱のヒビには埋木で対応。これまた職人さんによる根気のいる細かな作業に感服しました。

現在は足場も撤去され、朝の梵鐘も六月一日から再び撞かせてもらっています。気のせいでしょうか、どこか音の響きも良くなった気がしています。近隣の方はぜひ耳を澄ませて聞いてみてくださいね！

仏事の疑問 Q & A

質問 永代祠堂経って何ですか？

浄土真宗で一番大きな行事は報恩講法要。では二番目はといえば、それが永代祠堂経法要（永代経）です。

永代経は、亡くなった方々への追善供養ととらえられがちではないでしょうか。しかし、浄土真宗では、亡き方々を追善供養の対象としてではなく、今まさに私を支えてくださる「仏さま」として受けとめてきました。

亡き方々は私を見守る「仏さま」なのです。

亡き方々を偲び、大切な方との死別を超えて、その上で私たちの「いのち」があるということ。私の「いのち」は、仏さまとなつていかれた「いのち」に

今も支えられ、決して一人ぼつちで生きている「いのち」ではないのだということ。

先人たちは、それこそ悲喜こもごもの人生の中で、この教えを大切にされてきたのでした。

亡き方々を偲び、永代にわたって教え（経）を伝えていくことを願い、お堂を祀り（祠堂）、お参りするのが永代祠堂経法要です。

どうかご参拝ください。



千夏ちなつのきときと日記

広済寺の朝はいつもバタバタ。ある日の朝、いつものように保育所に行く娘に「早くしられ!」と急せかす私(母)…。そんな私をよそに、マイペースな娘は玄関先で立ち止まっています。

「ほら、早く行かんなんよ!」とまたまた急かす私。ところが娘は不思議そうにし



て尋ねてきたのです。「何か聞こえるね。ほら!お母さん、これ何の声?」。

娘の耳に入ってきていたのは、「ポーポーポッポー」という鳩の鳴き声でした。その後には「ピーヒョロロロ」とトンビの鳴き声も聞こえてきます。

外から聞こえてくる声に娘の目はキラキラして、「いろいろな声が聞こえるね」と楽しそうに私に教えてくれます。私にはその声たちが日常すぎて、全く耳に入ってきていなかったのです。

そんな自分の姿が、阿弥陀さまの救いのよび声に気づかない私の姿に重なってしまいました。「我にまかせよ、必ず救う」といつでもどこでも寄り



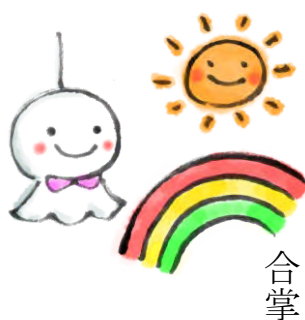
添つてくださる阿弥陀さま。日々の生活に追われている私にもいつもご一緒してくださいるのが阿弥陀さまでした。

私も娘に急かしてばかりではなく、娘の声にも寄り添っていく母になりたいと思います。

住職コラム

梅雨入り宣言早々に連日の真夏日(三〇度以上)を迎えました。梅雨明けではないそうです。水害やら土砂崩れ、そして熱中症などに気をつけていきたいですね。

暑い最中ですが、各寺院では永代祠堂経法要および黎明講座、そして夏休みに入っては「五位組夏休み子ども大会」等が開かれます。健康に留意しながら、それぞれに本堂に参拝して、仏さま親さまとのひとときを過ごさせていただきます。楽しみですね。



合掌



プチ縁日を楽しみました ～ 仏教婦人の集い ～

今年の仏教婦人の集いは、四月十九日(土)午後一時半から開催しました。年に一度の「仏婦の集い」に、今年もたくさんの方々が参加くださり、楽しいひと時となりました。まずは阿弥陀様にお勤めしてから、ご法話をお聴聞。小

矢部市の浄教寺より立川証さんをお迎えし、浄土真宗の法名についてお聞かせいただきました。

続いては、近年子ども報恩講で行っている縁日をプチ体験。お菓子つりやコイン落としなど、子どもの頃に戻った気持ちで楽しみました♪テレビの格付けチェックを真似たクイズも好評で、高級品の羊羹とスーパールの羊羹の食べ比べなど、大いに盛り上がりました。

最後は定番となったケーキタイム。和やかな時間となりました。

来年も春に開催予定です。今から企画を考え中。ぜひアイデアを教えてくださいね！

お知らせ

令和七年

永代祠堂経法要

七月四日(金)・五日(土)

両日午後一時半より

御講師

五位組 教願寺

岡西 有可 師(四日)

岡西 好持 師(五日)

広済寺護持委員会

七月五日(土)

午後三時半より

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後一時半より



編集後記

今年の永代経は七月となりました。例年は六月三日・四日でしたが、遅い時期となりました。なかなかに予定通りいかず、ご迷惑をおかけしております。さて、皆さんは万博には行かれましたか？いろいろ課題があるようですが、せっかくの機会。思いきって何とか行ければと思案しているところです。

前回一九七〇年の大阪万博は、実に人口の半分以上が訪れたとのこと。あの当時を知る方からは、それこそ色んな思い出を聞かせてもらっています。思い出作りに、いざ遠方へ。蓋を開ければ京都止まりかもしれないませんが、コロナ禍も経験したからこそ、気持ちよく外に出れるって嬉しいことですよね♪